



BusinessReport **211**th

第211期 年次報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第211期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

尻家 正博

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の解除により社会経済活動の正常化が一段と進む中、消費活動やインバウンド需要の伸長により、緩やかな回復を見せました。一方、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き懸念、国際情勢の不安定化により、原材料やエネルギー価格の高止まりおよび円安基調の長期化等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期経営計画「ACTION22-24」において、コロナ禍からの復活を目指すこと、長期ビジョンの実現に向けた成長のレベルをさらに加速させることとし、2年目となる本年度においても新たに創ること、新たに取り組むことに挑戦いたしました。「経営基盤の強化」としては、新中核事業と位置付ける化成品事業において主力の食品用増粘安定剤の販売拡大に向けた設備投資を実施

しております。資本効率を重視した既存事業の稼ぐ力の向上と事業ポートフォリオの見直しについては、当社の連結子会社である株式会社シキボウサービスが営む保険代理店事業の譲渡および当社の連結子会社であった小田陶器株式会社の株式譲渡を実施いたしました。国内、海外のグローバルネットワークの連携強化による海外市場の開拓については、欧米およびアセアン地域等の海外市場向け販売を目的として、ベトナムに現地法人を設立いたしました。

以上の結果、売上高は386億81百万円(前期比2.1%増)、営業利益は14億28百万円(同17.3%増)、経常利益は13億22百万円(同17.5%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、株式会社シキボウサービスの保険代理店事業の譲渡益を特別利益として計上し、また、連結子会社であった小田陶器株式会社の株式譲渡損失を特別損失に計上したことにより、8億円(同49.0%減)となりました。

なお、2024年3月期の期末配当金につきましては、前期同様1株あたり50円といたしました。

2024年度につきましては、中期経営計画の最終年度であり、本来であれば、計画達成に向けての仕上げの1年ではありますが、2024年度の計画値と業績予想の乖離について決算発表時に開示いたしました。中期経営計画策定時と比べ、世界的な地政学リスクや経済状況の変化などに起因した原材料やエネルギー価格などの高騰、為替変動により、コスト構造が大きく変わり、利益面で大きく乖離したことによるものであります。損益としては計画値を下回る業績予想となりましたが、中期経営計画の基本方針や事業戦略に変わりはありません。方針、戦略に沿って掲げた目標や取組み、アクションプランを従業員一人一人が最後までやり抜くという、「ACTION22-24」の総仕上げの1年にしていきたいと考えております。

当社グループでは、株主・ステークホルダーの皆様方に支持されるよう、安心・安全・快適な暮らしと環境にやさしい社会の実現を目指して、社会的責任を果たしつつ、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

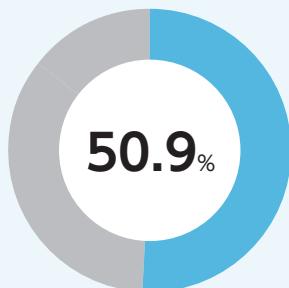
2024年6月

連結財務ハイライト



繊維セグメント

売上高構成比



売上高 198億99百万円 (前期比0.2%減)
 営業損失 2億77百万円
 (前期は6億9百万円の営業損失)

円安の進行、製造コスト上昇の継続はあったが、価格改定の効果が徐々に現れたことにより、前期比で赤字幅は大幅に縮小

- ・原糸販売事業
国内産地の需要低迷と中国・欧米市場の市況落ち込みにより苦戦
- ・輸出衣料事業
中東市場の好況に円安も重なり、中東民族衣装用生地販売は引き続き好調に推移
- ・ユニフォーム事業
生地販売では市況の回復により増収となり、価格改定も進んだものの、原材料等の価格高騰および円安の影響により、引き続き苦戦
- ・ニット製品事業
市況の回復基調が続いたことに加え、価格改定が進み、好調に推移
- ・生活資材事業
リビング分野においては顧客の在庫調整により市況が振るわず、低調に推移
リネン資材分野は、病院・介護施設向けリネンの受注が進み、堅調に推移
メディカル分野では「フルテクト®マスク」の需要が大幅に減少、悪臭を良い香りに変える臭気対策剤「デオマジック®」も低調に推移

●売上高
 (単位:百万円)

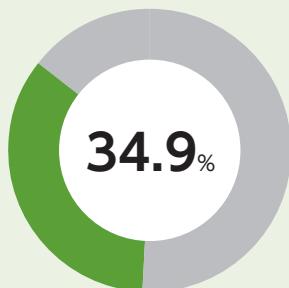
第210期	19,935
第211期	19,899

●営業損失
 (単位:百万円)

第210期	△609
第211期	△277

産業材セグメント

売上高構成比



売上高 135億円 (前期比6.9%増)
 営業利益 5億55百万円 (同6.8%増)
 産業資材部門

- ・ドライヤーカンバス事業
国内向けカンバスの販売数量は減少、製造コスト上昇分の価格改定や設備改造用カンバスの需要、堅調なコルゲーターベルト販売により売上高は前期並み
 - ・フィルタークロス事業
顧客からの受注・納品サイクルの端境期等により減収
空気清浄機分野においては機器販売・保守点検ともに順調に推移したものの、本年度は大口の単発受注がなく減収
- 機能材料部門
- ・化成事業
中国向けの化学品需要は顧客の在庫調整の影響により低調に推移
食品用増粘安定剤は好調に推移
 - ・複合材料事業
航空宇宙向け部材の需要がコロナ禍以前に近い水準まで回復したことにより増収

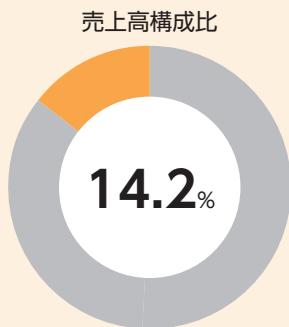
●売上高
 (単位:百万円)

第210期	12,628
第211期	13,500

●営業利益
 (単位:百万円)

第210期	520
第211期	555

不動産・サービスセグメント



売上高 58億96百万円 (前期比0.8%減)

営業利益 19億78百万円 (同1.3%減)

- ・不動産賃貸事業
堅調に推移
- ・リネンサプライ事業

エネルギー価格および人件費高騰の影響を受けたもののインバウンド需要によりホテルの稼働率が向上し増収

●売上高
(単位:百万円)

第210期 5,941

第211期 5,896

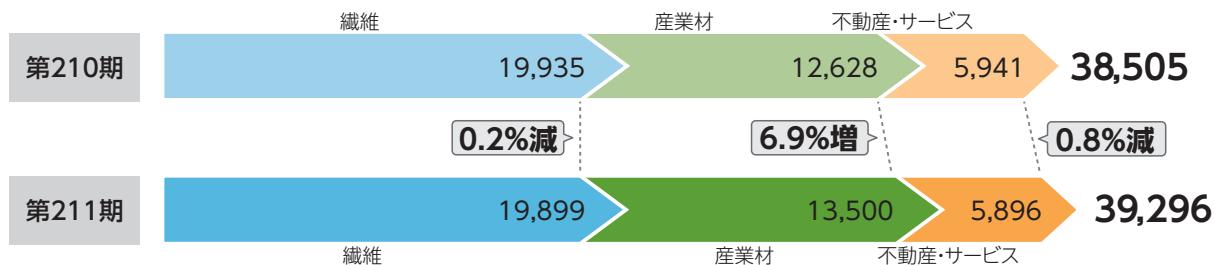
●営業利益
(単位:百万円)

第210期 2,004

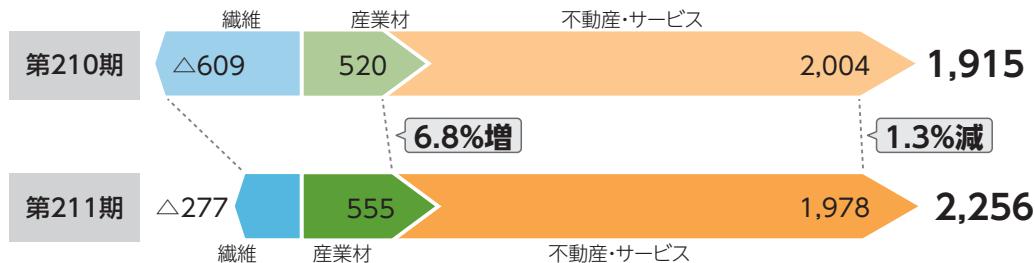
第211期 1,978

●セグメント別売上高の推移(連結) (内部間取引含む)

(単位:百万円)



●セグメント別営業利益の推移(連結) (内部間取引含む)



シキボウベトナム有限会社設立

シキボウベトナム有限会社が今年1月に設立されました。ベトナムでは、従来よりホーチミン事務所を拠点に現地情報等を収集してまいりましたが、この度の会社設立を機に本格的な現地営業活動を実施することとなりました。

繊維業界においては、これまで中国が生産拠点の中心となっていました。ベトナムは近年新たな生産拠点として注目され、多くの日本企業も進出しております。

当社は、今回の会社設立を機に現地協力会社との取組みによる国内外への差別化原糸販売やニット縫製品販売等の事業拡大に努めてまいります。

さらに既存海外グループ拠点との連携で当社グローバル戦略の強化も推し進めてまいります。

なお、今年3月にホーチミン市内において開業式典を開催しました。式典には官公庁の来賓を含む約50名にご臨席をいただき、日本伝統の鏡開きを披露するなど盛大に挙行されました。



第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の発行

中期経営計画「ACTION22-24」に掲げる経営基盤の強化策の1つとして、新中核事業と位置付ける化成品事業を成長の軌道に乗せるため、連結子会社である株式会社シキボウ堺において、新工場の建設を進めております。その新工場の建設資金調達の一部として、第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権(行使指定・停止指定条項付、「サステナブルFITs」)を発行をいたしました。

なお、今回の新株予約権の行使期間は、最長3年間で予定しておりましたが、割当日から1か月程度と想定より大幅に短い期間で約10億円を調達することができました。(詳細につきましては、当社WEBサイトをご覧ください。)

株主の皆様には、発行の趣旨をご理解いただき、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

■化成品事業(シキボウ堺)

■食品添加物の製造過程

主原料:タマリンド
原産国:インド・タイ

主原料:サイリウム
原産国:インド



子供さんから高齢の方まで
みなさんの口に入る食品だから、
安全・安心を第一に製造しています。



■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 2024年3月31日現在	前期 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	24,591	24,738
固定資産	58,708	57,305
有形固定資産	54,264	53,256
無形固定資産	626	509
投資その他の資産	3,817	3,539
資産合計	83,299	82,043
負債の部		
流動負債	18,901	17,109
固定負債	30,317	31,576
負債合計	49,219	48,686
純資産の部		
株主資本	21,244	21,146
その他の包括利益累計額	12,806	12,191
新株予約権	6	—
非支配株主持分	23	19
純資産合計	34,080	33,357
負債及び純資産合計	83,299	82,043

POINT

資産の部

総資産は832億99百万円となり、前期末に比べ12億56百万円の増加となりました。これは主に、棚卸資産が減少したものの、有形固定資産に含まれる建設仮勘定の増加によるものです。

負債の部

負債は、492億19百万円となり、前期末に比べ5億33百万円の増加となりました。これは主に、有利子負債、未払消費税等の増加によるものです。

純資産の部

純資産は、340億80百万円となり、前期末に比べ7億23百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金、為替変動に伴う為替換算調整勘定の増加によるものです。これらの結果、自己資本比率は前期末に比べ0.3ポイント増加し、40.9%となりました。

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
売上高	38,681	37,893
売上原価	31,603	31,287
売上総利益	7,078	6,605
販売費及び一般管理費	5,649	5,387
営業利益	1,428	1,217
営業外収益	224	256
営業外費用	331	349
経常利益	1,322	1,125
特別利益	454	1,268
特別損失	492	1,502
税金等調整前当期純利益	1,285	891
法人税等	484	△691
当期純利益	800	1,582
非支配株主に帰属する当期純利益	0	14
親会社株主に帰属する当期純利益	800	1,568

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,549	1,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,703	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509	△579
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	63
現金及び現金同等物の増減額	381	△85
現金及び現金同等物の期首残高	4,922	5,008
現金及び現金同等物の期末残高	5,303	4,922

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益及び減価償却費等により35億49百万円の増加（前期は11億12百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出等により27億3百万円の減少（前期は6億82百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、配当金支払等により5億9百万円の減少（前期は5億79百万円の減少）となりました。

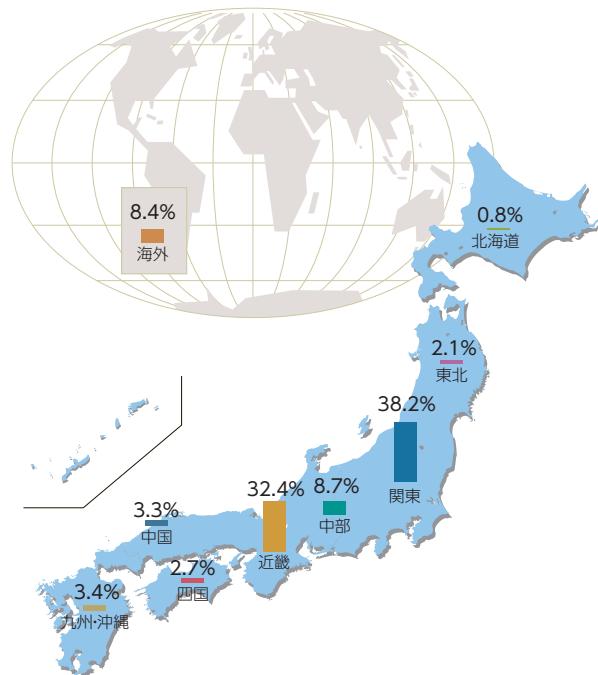
株式の状況

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式総数	11,810,829株
株主数	15,999名
大株主(上位10名)	

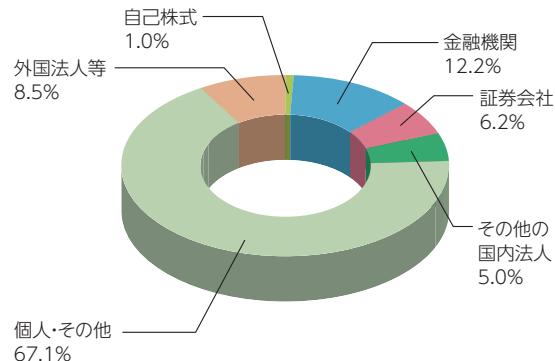
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	894	7.65
シキボウ従業員持株会	554	4.74
野村證券株式会社	372	3.19
シキボウ取引先持株会	366	3.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	230	1.97
BNP PARIBAS FINANCIAL MARKETS	136	1.17
東京海上日動火災保険株式会社	110	0.94
シキボウ労働組合	100	0.86
三井住友信託銀行株式会社	100	0.85
上田八木短資株式会社	96	0.82

- (注) 1.当社は、自己株式を113,731株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2.持株比率は自己株式(113,731株)を控除して計算しております。
 3.当社は、株式報酬制度(役員向け株式給付信託)を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が当社株式106,238株を取得しております。

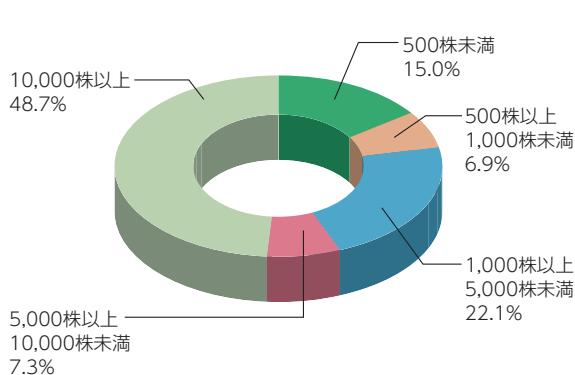
株主分布図(所有株式数比率)



所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



会社概要 (2024年3月31日現在)

■会社概要

商号 シキボウ株式会社
英文社名 SHIKIBO LTD.
ホームページ <https://www.shikibo.co.jp/>
設立 1892(明治25)年8月5日
資本金 11,336,232,642円
従業員数 2,198名(連結)、554名(単体)
本社 大阪市中央区備後町三丁目2番6号
支社 東京支社(東京都中央区)
研究所 中央研究所(滋賀県東近江市)
工場 富山工場 鈴鹿工場 八日市工場
八幡工場
事業所 八日市事業所 尾道事業所 長野事業所

■主要な連結子会社

新内外綿株式会社
丸ホームテキスタイル株式会社
株式会社シキボウ江南
敷島カンバス株式会社
株式会社シキボウ堺
シキボウリネン株式会社
株式会社マーメイドテキスタイル
インダストリーインドネシア

■取締役(2024年6月27日現在)

取締役会長	清原 幹夫
代表取締役	尻家 正博
取締役(監査等委員)	竹田 広明
社外取締役(監査等委員)	野邊 義郎
社外取締役(監査等委員)	宇野 保範
社外取締役(監査等委員)	細田 祥子

■執行役員(2024年6月27日現在)

社長執行役員	尻家 正博
常務執行役員	田那村 武司
上席執行役員	豊島 亮治
上席執行役員	尾崎 友寿
上席執行役員	伊丹 秀典
執行役員	鈴木 睦人
執行役員	野津 元彦
執行役員	石田 仁紀
執行役員	末廣 勝彦
執行役員	江南 裕弘
執行役員	守本 和令
執行役員	津田 隆

■理事(2024年6月27日現在)

理事	岩崎 康彦
理事	辻本 裕

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会開催月	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して 定めます。
公告方法	電子公告 当社ウェブサイトに掲載いたします。 (https://www.shikibo.co.jp/account_pub/index.html) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵送物送付先 (電話照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話0120-782-031 (フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日を 除く平日9:00～17:00)
(取次窓口)	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

各種お問い合わせについて

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等については、お取引の証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- ・未払配当金の支払については、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

お問合せ先 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2023年6月以降の株主総会から、**株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、計算書類、連結計算書類、監査報告)は原則ウェブサイト上でご確認いただくことになりました。**この制度におきましては、インターネットのご利用が困難であるなどの株主様の事情に配慮して、「書面交付請求」の手続きが設けられています。

2025年6月の定時株主総会において、**株主総会資料の書面での受領を希望される株主様は、2025年3月末までに書面交付請求のお手続きを完了していただく必要があります。**

お手続きの方法につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社もしくはお取引の証券会社へお問い合わせください。

お問合せ先 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-533-600

コーポレートサイトのご案内

<https://www.shikibo.co.jp/>

当社の企業活動、製品などに関する詳しい情報につきましては、「シキボウ株式会社コーポレートサイト」でご覧いただけます。こちらもどうぞご利用ください。

シキボウ

検索



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

